

2026 年度医学科入学試験「英語」解答例・出題意図等

出題意図

人は、「ことば」を用いて考えますので、外国語を学ぶことは、母語とは異なる思考法、発想法を身につける過程で、創造力を高めます。なかでも英語は、第二言語教育に於いて、異文化理解および学術界での意思疎通のツールとして、世界標準の備えとなっています。従って、医学の分野でも学際レベルの英語でコミュニケーションができるためには、英語で理解し、英語で思考し、英語で発想し、英語で表現する力を養わなければなりません。これらの考えと本学のアドミッション・ポリシーに基づき、2026 年度入学試験では、次のような観点から出題しています。なお、記述式問題は、解答者の文法力、語彙力、読解力を統合して、独自の発想・論理を創造的に産出できる好機です。出題指示に従い、自分なりの論理展開を明らかに伝える記述を期待しています。

学術研究、医療、社会的な題材の英文記事に於いて：

- I. 1. 文脈に沿った最も相応しい英単語を選べる判断力を問う。
2. 詳細な内容理解問題で思考力と読解力を問う。
- II. 選択問題：文法・語法・語彙の知識を、文脈に沿ったコロケーションとして適用する力を問う。
[X] 記述問題：語彙・文法構造の分析に基づいた、英語での表現力、創造力を問う。
- III. 選択問題：文法・語法・語彙の知識を統合し、文意に最も相応しい語句を用いる技能を問う。
記述問題：本文の意味に沿った結論段落を書く問題。本文の要旨を理解した上で、自分の意見や考えを、理由や根拠を挙げて、読み手に明確に伝わるように適切な構文や語彙を用いて論理的に記述しているかを問う。

解答例

- I. 1. (A) 2, (B) 4, (C) 2, (D) 3, (E) 4, (F) 1
2. 4
3. 4
4. 2
5. 3
- II. 1. (A) 3, (B) 1, (C) 2, (D) 1, (E) 4, (F) 2
[X] (解答例) bring him back from the brink
- III. (A) 4, (B) 4, (C) 3, (D) 3, (E) 4

Writing Question:

(解答例) *Therefore, it is important to be aware of the frequency illusion and know how to overcome it. When you start noticing some new thing, you should question whether that thing is actually new or if you simply did not notice it before. Now that you know about the frequency illusion, look for examples of it in your own lives and be aware of how your brain might be tricking you.*